

## 令和4年度第2回平館高等学校学校運営協議会議事録

記録：副校長

日時：令和4年9月28日（水）10：00～12：00

場所：研修ホール

出席者：北島亨校長、CSアドバイザー 藤島茂美 氏

学校運営協議会委員11名

（田中耕一会長、齋藤学副会長、寺澤幸昌氏、工藤昌雄氏、佐藤晃氏、遠藤収一氏、鈴木絵美氏、高宮征宏氏、畠山幸清氏、石川千枝教諭、副校長後藤知恵）

### 次 第

#### 1 開会のことば（副会長）

#### 2 学校長あいさつ

CSの皆様方には日頃から本校のために温かい目で見守っていただきながら、尚且つ適切なアドバイスをいただき本当にありがとうございます。

今日授業を見ていただきましたが、生徒達は本当に落ち着いて、それぞれの目標に向かって頑張っております。3年生は、就職試験がスタートして、今のところ9名に内定通知が届いております。それから昨日進学の方も会議を行いまして、それぞれ岩手大学や県立大学など目指して頑張ろう、それから小論文指導も面接指導もこれから進学の方は専門学校も含めて取り組んでいくところです。順次またいい報告が出てきましたら改めてご報告いたします。

それから、10月の4日から学校公開をするのですが、西根一中から2学年の生徒全員が1年後の進路に向けてということで、本校に来てくださることになっております。

今回の大きなテーマでもある『魅力ある学校づくり』のために、委員の皆様方の様々なアドバイスをいただければと思います。同窓会の皆様それから地域の皆様、中学校の先生方も含めて皆で平高をどうやってこれから魅力ある学校にしていくのか、今日もお話をさせていただきたいと思います。

先日1学年の総合的な探究の時間に第4回生の87歳の先輩に来ていただいて、八幡平市の植物について熱い講義をしていただきました。子どもたちもいろいろな方々から教職員以外のエネルギーをいただいて、本当にありがたく思っております。卒業生の皆様、地域の皆様、企業の皆様からいろいろなアドバイスをいただいて、生徒たちは大きく育っています。今後ともぜひよろしく願いいたします。

今日は鈴木絵美さんにも発表していただきますし、昨年のCS立ち上げの時からお世話になっている藤嶋先生にも起こしただいておりますので改めてご紹介申し上げます。それでは、今日の会議が様々ないい意見が出るようよろしく願いいたします。

#### 3 会長あいさつ

授業を見せていただいて、自分の頃は48人学級で後ろまでいっぱい授業参観などできないような感じであったので、今は余裕があつていいなあと思いましたが、勉強が全然違うなあと実感しました。授業を見るのもいいものだなあと改めて感じました。

この間、市長とのトークでいろいろな意見が出ました。皆さん学校を思う気持ちがすごくあるなあと感じましたので、この会で更に少しでもより良いものにできればと思います。皆さんからもいろいろな意見いただきながら、進めていきたいと思っております。本日はよろしくお願い致します。

#### 4 学校魅力化実践紹介 地域密着コーディネーター 鈴木 絵美 氏より

\*家政科学科、2年生「地域観光基礎」・3年生「地域観光実践」における授業コーディネイトの取組について紹介。(パワーポイントを使って発表)

- ・家政科学科という学科の特性に合わせ、衣食住の切り口で実施。
- ・インプット→様々な人と会う(創作料理人、染色家、山岳ガイド、DMOの代表 など)
- ・アウトプット→情報発信(SNS)…今年度はライターを招いて効果的な文の書き方についての授業も実施した。

3年生の商品開発(ドラゴンアイクッキー、バジルクッキー)

2年生、八幡平マッシュルームを使ってレシピ開発→料理コンテスト応募まで。

- ・生徒の意識や行動の変容は、地域の人の思いに直接感じることで得られる。
- ・次年度に引き継ぎながら継続して繋がる活動にしていくことが必要。
- ・魅力化について…即入学者が増えることも難しいだろうが、関わる人の意識改革やコミュニケーションが重要と考える。一市民としてCS関係者として、関わる大人が変わっていくことがイメージアップや魅力化に繋がっていくのだと思う。
- ・note「はちらぶ」、「平館高校」紹介。

#### 5 市長とのフリートーク報告 PTA会長 畠山 幸清 氏より

平館高校に給食を提供して欲しいと要望を出しました。市長の回答は、前向きに考えたいということでした。今給食センターではご飯は提供していないようで、議員さんたちからもご飯も出した方がいいという話をされているみたいです。今の給食センターではご飯を作る設備が整っていないので、今度新しく建て直す計画もあり、その時にご飯も提供できるような設備を整えて、高校の給食も前向きに考えたいという、良い返事をいただきました。すぐにすぐできるような内容ではないですが、話して良かったと思いました。

あと市外から1人でも多くの生徒を入れるのに、市内の旅館やホテルに協力してもらい下宿できるようなシステムはできないものかという提案もしました。ちょっと模索していきたいという答えをいただきました。

\*最後に追加でPTAの活動についても報告

(登校時一声運動、運動会でのひつつみふる舞い、花壇整備、ムラサキの播種 など)

#### 6 学校より(副校長)

- (1) 一日体験入学について
- (2) 2学年インターンシップについて
- (3) 家政科学科の取り組みについて(県外募集も含む)
- (4) 魅力化情報発信について(学校HP・note・ポスター など)
- (5) 魅力化ビジョン<スクールポリシー>について

\*資料に沿って説明

#### 7 議題(議事進行:会長)

- (1) 平館高校の更なる魅力化(学校生活の充実)・志願者増に向けて成すべきことは  
工藤氏

授業を見た感じでは、少人数になっているので、きめ細かい指導がしやすい雰囲気、それぞれの個性を伸ばすような形で授業が進んでおり大変良いと思いました。パソコンやタブレットは、これからどんどん使っていくようになっていきますが、使い方を工夫しないと、ただ使っただけになってしまうので、先生方の授業研究の中心として検討していけばいいと思います。生徒の画面を見た時に、それぞれ場面が違っていたので、自分で検索して、流れが分からなくて、困っている生徒もいましたので、個別に指導することもこれからは必要なのではと思いました。

ホームページも見せていただきましたが、新しい情報がたくさん入っていましたので大変いいと思います。これからは情報発信の時代なので、外に発信していくことが必要だと

思います。そして、見て気づいたことがあります。紫根染の教室が一杯になりましたと書いてありましたが、どういう内容かなと思ってクリックしたら何も出てこなかったのも、紫根染の教室の内容や何名募集して、いつで締め切ったなど説明があれば良いと思いました。あと、前回の運営協議会の会議録も見せていただきましたが、掲載前に、発言した皆さんに確認したほうが良いと思います。例えば、私の発言で、『80万円』と記載のところは、『180万円』でした。

私も住田高校に勤務したことがあり、住田も統廃合の対象校で大変だった経験があります。そこで、介護系を学べる教育課程にして、大船渡や高田などから希望する生徒を呼ぶようにしました。それで、結構資格を取れるっていうことでたくさん生徒が来るようになり、統合の基準をクリアすることができました。また、遠野には行くけど、向こうからは住田に来ないので、来るためにどうしたかという、町長さんに相談をして、巡回バスを遠野まで行ってもらうように頼み、通学の足を確保した結果、1、2年後から生徒が来るようになりました。ですから、いろんなアイデアを行政関係や企業等に相談して、チャレンジしないと状況は変わらないと思います。どうしても、こうやるとダメなんじゃないか、これは無理じゃないかと思っているだけではダメで、まず動いてチャレンジして、もしダメだったら、その壁をどう乗り越えていくか考えた方が今の平館高校が躍進していく、また魅力化し外部から入学生が増えるように繋がっていくと思います。どうしても私たちも先入観があって、頭で考えてしまいますが、当たってぶつかって、課題をどうやって乗り越えていっていかっていうのを中核にして考えた方が、ふり返ってみると状況が変わっている方向に改善されていることが多かったと思います。

平館高校の特色は、例えば家政科学科や部活動などありますが、その継承していいものと、新たに作らなければならないものに分けて考えて、何を新しく作ればいいのか、今までのもをどういうふうに強調すれば魅力化になるのかということを考えていった方がいいと思います。新しいものを作るというのは非常に大変なことです。先進校の例に学び、それをアレンジしていく方法がいいと思っています。市外からの入学生の宿泊の件についても葛巻高校や大槌高校がやっているの、話を聞いてみるなどすれば、平館高校としての新しい方法でできると思います。全てをこのようにチャレンジしていけば良いと思います。

佐藤氏

毎年こういう話が出るのですけども、子どもたちは学校をイメージで大体決めてしまう。直観的に決めてしまうので、例えば、学科名も『ビジネス●●●』とかありますね。そのようなイメージアップで、すごく行きやすく選んでくれる子どもさんたちがいるのではないかと思います。

遠藤氏

平高の教室を回って感じたのは、教室の前に新聞が置いてあるので、いい機会を作っていると思いました。なかなかテレビから入ってくるニュースだけではなく、新聞を読み込む力も、若い時からあればいいのかなと思いますし、そういう生活習慣が親御さんが、この子変わったなと思い、親の平館高校に対するイメージがアップすると思います。また、3年生がいる3階には、スポーツ新聞が置いてありました。私、スポーツ新聞の後ろの方には、ちょっと怪しい記事もあるのでとって副校長に聞いたんですが、これも3年生ですから、いろいろな経験も必要じゃないですか。ということで、色々な機会を見て、一般の家庭でも、新聞を読み込む機会がなかなかない中で、学校にそういう機会を設けてあげるといって感心しました。高校性の目線で色々今日本がどうなっているのか、世界がどうなっているのかと興味を持ってもらうというのが、学校の魅力に繋がっていくのかなと、今日のあの教室を見て感じました。

インターンシップについては、毎年高校の進路課の方からの申し出により、取りまとめを商工会で行っている。今年受け入れ希望で手を上げたのが約25の事業所でした。学校側の希望、生徒の希望、企業の希望の調整を図って、今年もインターンシップができたと思っています。生徒からのいろいろな感想をもらって、色々な機会で見聞交換もでき、商工会としてもよかったです。

#### 寺澤氏

とても難しい議題で、私が何を話した方がいいのかなと思いつつながら、先ほど鈴木絵美さんの発表を聞いて、本当にいろんな魅力的な展開がされていて、素晴らしいなど。それで、何を学べるのかなとか、夢を色々見させてもらったなと思いますし、その中で『移住者としての視点』っていう部分でお話しがありましたが、地元の方が地元のこういうところがいいですよ、ということは昔からありますが、移住者の方の言葉は、ハッとさせられるものが多いと思いました。私の家が久慈にあるのですが、アマちゃんの時に「じぇじぇじぇ」っていうのを、よその方が発信したんです。そういう視点があって、こっちも気づかされます。ですから、素晴らしい講師の方を見つけて、あのような形で発信もして下さって学びに繋がっているの、やはり外部講師の方々の力というのをたくさん借りていいのかなと思いました。当然、聞いただけではなくて、そこから自分がどう考えたかというように進めていく、その方がいいのかなと思います。

それから、高校の体験入学は大事ななと思っていました。高校さんもたくさんあるので、そして同じ日に別の学校と重なることが多々あって、今年の西中の参加 20 人でしたが、この日別の高校もあって、そちらの方にも流れています。もし重なっていなければもう少し西中からも来たかなと思っておりましたので、その辺りが上手くいくといいと思います。できれば、2 月中にいつ体験入学をするのかということをお中学校の方に教えていただければ、終業式に被らないように、中学校でも調整をしながらやっていければいいかなと思っています。

#### 高宮氏

鈴木さんの発表を聞いて、情報発信っていうところが大事だと勉強になりました。私の息子さんもそうなんですが、とても興味を持ったものを調べるのは得意で、それを研究に生かすと本当にすごいんだろうと思う。あんまり活かされないんですけど、本当に魅力のところがうまく発信されて、興味を持つ生徒にマッチングできれば、志願者の増に繋がるのかなと。色々、私自身も考えていければと思っています。

#### 齋藤副会長

魅力発信と生徒の志願者増についてですが、個人的には、紫薫祭が地域の方や子どもさんたちと 1 番共有できる唯一の時間、アピールなのかなと思います。そこで考えているのが、駐車場についてです。止められるところ、まずコミュニティセンターなんですよ。紫薫祭と同時期にあるのが、コミュニティセンター祭りで、なぜか 1 週間ずらすのですが、一緒にやれば、絶対効果はどちらにとってもいいはずなんですけど、駐車場問題で 1 週間後、紫薫祭やってからコミュニティセンター祭りとか。昔からどうにかしたいなと思って、数少ないイベントの地域なのでコミュニティセンター祭りと同じ日にやった方が、絶対これ集客も見込めるかなと思っていました。

生徒の数も少なくなっていて、クラス単位でやるのが大変になってくると思うので、学校で使っていない教室もあるので、何が出来るか、何をやったら人が増えるかとか、生徒たちのやりたいことを枠に納めるのではなく、前から会議でもんで次年度にも継ぐような徐々に紫薫祭にもっと人を集められるようなイベントに変えていった方がいい。もう、クラス単位という枠はとって。そうすれば、行ってみようかなっていう親御さんとか、中学校の生徒が増えるようなイベントを絶対作れると思うんです。

#### 田中会長

すごくいいことをいっぱいやっていたので、それをもっとみんなに知ってもらえばいいのかなと思います。例えば、家庭科の発表を 1 回聞いた時にすごく感動しました。あれを偉い人のとこだけで聞くのではなくて、幅広く住民にも聞かせられたらと思いました。例えば、あの中学校さんでやってもいいでしょうし、地域のイベントでやってもいいと思いますし、あと垂れ幕ですね、学校の入り口にある垂れ幕、あそこだけではもったいないです。この間市長さんとのトークでも言おうと思ったんですけども、会長が私をあててくれなかったので、喋れなかったんですけども、あれを市役所とあと、駅に小さくしてもいいんで、やりたいなと思って。市役所をお願いしました。ぜひ、やってほしい。地元の高校のものも出してほしいっていうことを話しておりました。

(2) 平館高校職員からの要望について

- ①滝沢方面へのバス（平館区間）がなく困っている。滝沢学区の生徒確保が困難。
- ②引き続き、鈴木絵美さんに家政科学科の授業のご指導をお願いしたい。
- ③ソフトテニス部に外部コーチをお願いしたい。
- ④家政科学科1年「生活産業基礎」において、衣食住、ヒューマンサービス（保育施設、介護施設）関連に携わっている方々から仕事の誇りややりがいを知る講話形式の授業を実施したく、講師を探しています。

<回答>

- ①県北バスに問い合わせてみてはどうか。（田中会長）
- ②やります。（鈴木氏）
- ③OBにもたくさんいるはずとのこと。（田中会長）
- ④福祉分野は、高宮さんの職場（麗峰苑）でも可能とのこと。（高宮氏）

(3) その他

CSアドバイザー藤嶋氏より講評

私は形式的な面だけ少しお話したいと思います。今日はちょっと説明の方が長かったんですかね。今日いらした方々は、みんなインプットというよりも、アウトプットしたいタイプの方だと思いますので、その辺り時間管理をしてもう少し皆さんから話していただければと思います。それから、あとは魅力化がやっぱり大きいテーマなんですけれども、高校なので、いろんなことができそうです。そのあいアイデアについてなんですが、ここで相談するのもいいですが、やっぱり生徒たちや先生方の意見も聞けるように、拡大ワークショップの形で、話し合っても面白いんじゃないかなっていう風に思います。それから、議題について、今日は副校長先生が、私が勝手にとおっしゃいましたけれども、あの西和賀高校では、学校運営協議会の最後に次の回の話題を決めるのだそうです。1つの手だと思いますので、参考にいただければいいなと。で、予告のご案内の文章の中に、これについて話し合うんだってということがあると、皆さんそういう心づもりで意欲満々で、おいでいただけるんじゃないかなって思いました。

あと、最後にあのムラサキの話出ましたけど、小中学校の学校運営協議会で話題になって、最初寺田小が取り組んで、教えてくれる人がいなくなり、3年ぐらい前ですけれどもね。で、それで平館高校に相談して、今継続するっていう流れになってます。

8 その他  
特になし

9 閉会のことば（副会長）